

令和3年12月
さいたま市の財政



つなが龍
又
さいたま市PRキャラクター

はじめに

市が提供するさまざまな行政サービスは、市民の皆様に納めていただいた税金や国・県からの支出金などによって賄われています。市では、それらがどのように使われているか、また、執行の状況はどうなっているかをお知らせするため、「さいたま市の財政」を毎年2回（6月、12月）公表しています。

今回は、令和2年度の決算の概要と令和3年度上半期の財政状況をお知らせします。

もくじ

1	令和2年度決算の概要	1
2	令和3年度歳入歳出予算の執行状況	
	・一般会計	3
	・特別会計	5
3	令和3年度予算の使い方と市税負担	7
4	財産、地方債及び一時借入金の現在高	8
5	企業会計の状況	9
6	【特集】新型コロナウイルス感染症対策事業決算	11

1 令和2年度決算の概要

決算の特徴

- ◆令和2年度は、「市民一人ひとりがしあわせを実感できる”絆“で結ばれたさいたま市」、「誰もが住んでいることを誇りに思えるさいたま市」を実現するため、総合振興計画後期実施計画など主要な計画の総仕上げを行い、2021年の先の「新たなさいたま市の創造」に向けた更なる成長・発展につながる取り組みを進めました。
- ◆新型コロナウイルス感染症の拡大により、国内外が前例のない事態に直面する中、本市においても「感染拡大防止策と医療提供体制の整備」等、さまざまな感染症対策に係る事業を実施したことにより、一般会計の決算規模は、過去最大となりました。

決算の総額

一般会計

教育、福祉、医療や道路・公園の整備など市の基本的なサービスを行う会計で、主に市税で賄われています。

教育

福祉

土木

など

歳入 7,164億円

歳出 7,039億円

特別会計

国民健康保険や介護保険のように、特定の収入をもって特定の支出に充てるため、一般会計と区別する必要がある事業の会計。さいたま市には14の会計があります。

国民健康保険

介護保険

都市開発

など

歳入 3,117億円

歳出 3,077億円

企業会計

民間企業と同じように、基本的には事業収益で賄われている会計。さいたま市には、水道事業、下水道事業、病院事業の3つの会計があります。

水道事業

下水道事業

病院事業

収入 1,000億円

支出 1,187億円

全会計合計

※四捨五入の関係で各項目の合計と一致しません。

歳入（収入） 11,282億円

歳出（支出） 11,304億円

主な事業

コロナ対策 事業

- ◆ 感染症拡大防止と検査・医療提供体制の整備【決算 45億243万円】
- ◆ 市民生活の支援と市民サービスの向上【決算 1,372億7,001万円】
- ◆ 雇用維持・事業継続と経済活動の回復【決算 213億7,937万円】

(詳細はP.11参照)

01

環境 アメニティ

廃棄物処理施設の安定的な稼働【決算 1億6,180万円】

老朽化が進んでいる西部環境センターと東部環境センターを統廃合し、新たにサーマルエネルギーセンターの整備を推進しました。

02

健康 福祉

保育所整備に係る補助金の拡充【決算 59億5,580万円】

待機児童の解消に向け、賃貸物件を活用した認可保育所整備に係る補助金を拡充するなど、更なる保育所等の施設整備を推進しました。

03

教育・文化 スポーツ

ICTを活用したアクティブ・ラーニングの推進【決算 23億7,063万円】

「GIGAスクール構想」により児童生徒1人1台端末の整備を行うとともに、校内通信ネットワーク環境の整備を行いました。

04

都市基盤 交通

東日本の対流拠点にふさわしい都市機能の充実・強化【決算 1億445万円】

大宮駅グランドセントラルステーション化構想に基づき、交通基盤整備、駅周辺のまちづくり、駅機能の高度化を一体的に推進しました。

05

産業 経済

海外市場への販路開拓の促進【決算 3,417万円】

欧州産業クラスターとの技術交流や海外展示会を通じ、中小企業の国際展開を推進するとともに、産学官金連携による技術力向上を支援しました。

06

安全 生活基盤

安全で楽しく遊べる公園づくり【決算 1億8,404万円】

公園遊具について安全性の向上を図る修繕や更新等の対策を実施しました。

07

交流 コミュニティ

自治会運営及び情報発信の支援【決算 2億8,125万円】

自治会及び自治会連合会の運営に要する経費を補助するとともに、新たに、さいたま市自治会連合会のホームページ作成を支援しました。

08

高品質経営 プログラム

ICTを活用した働き方改革の推進【決算 2,458万円】

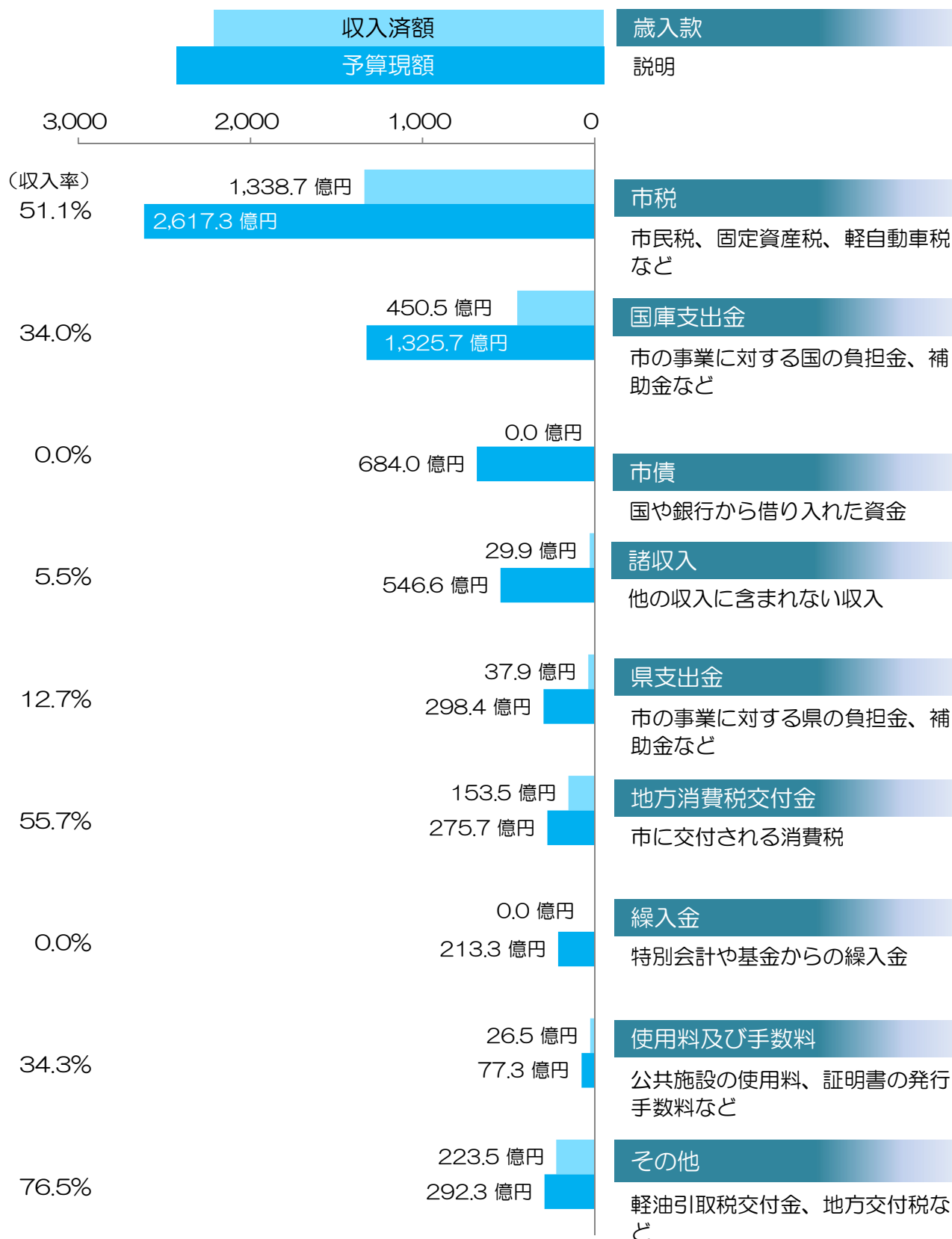
庁内会議等におけるテレビ会議システムの導入、税部門を中心としたRPAシステムの利用拡大及びモバイルワーク端末の試行利用を実施しました。

2 令和3年度歳入歳出予算の執行状況

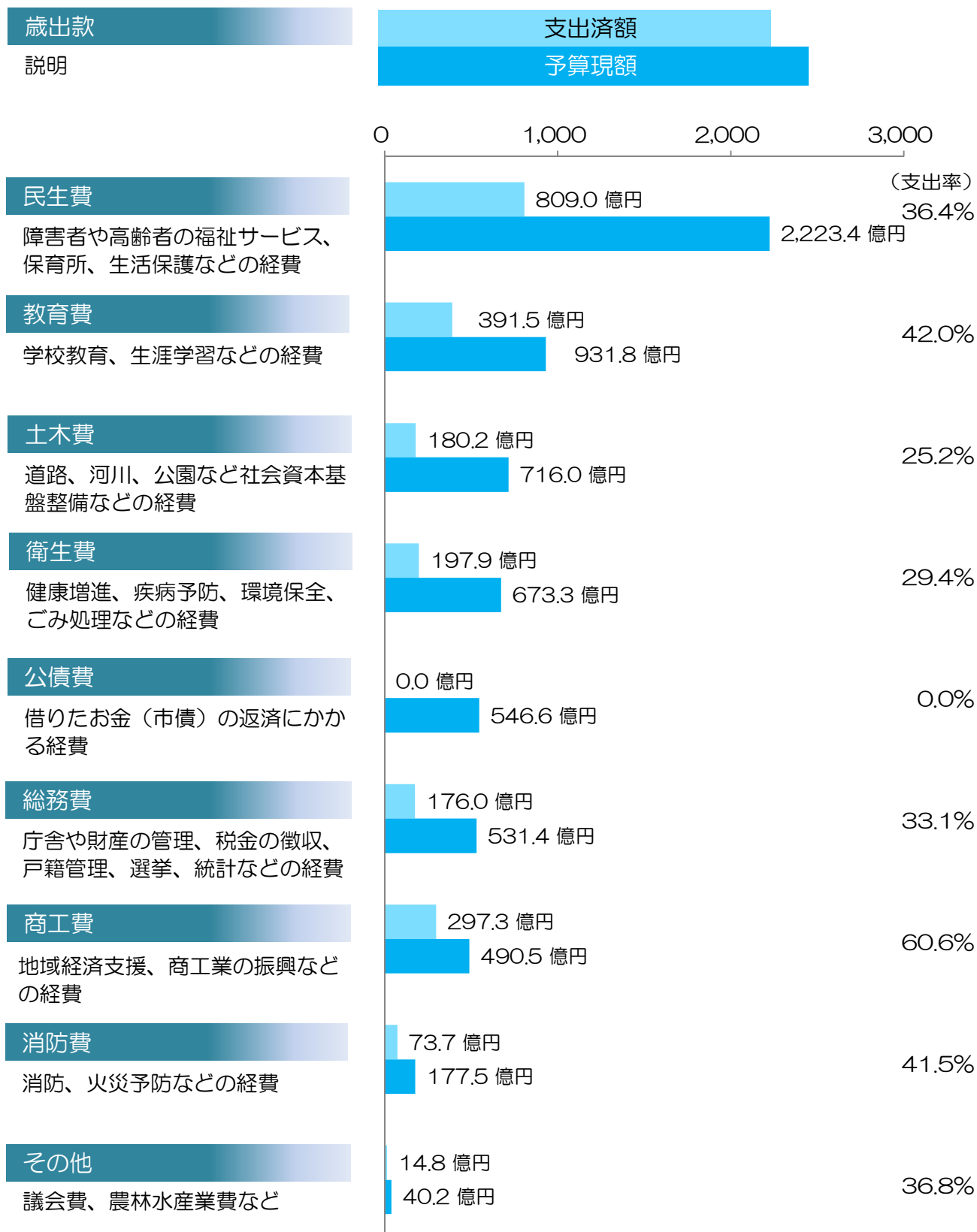
一般会計

※予算現額は、当初予算額に補正予算額と前年度繰越額を加えた令和3年9月末の予算額を表します。
補正予算額には、9月末時点で成立していないものは含まれていません。

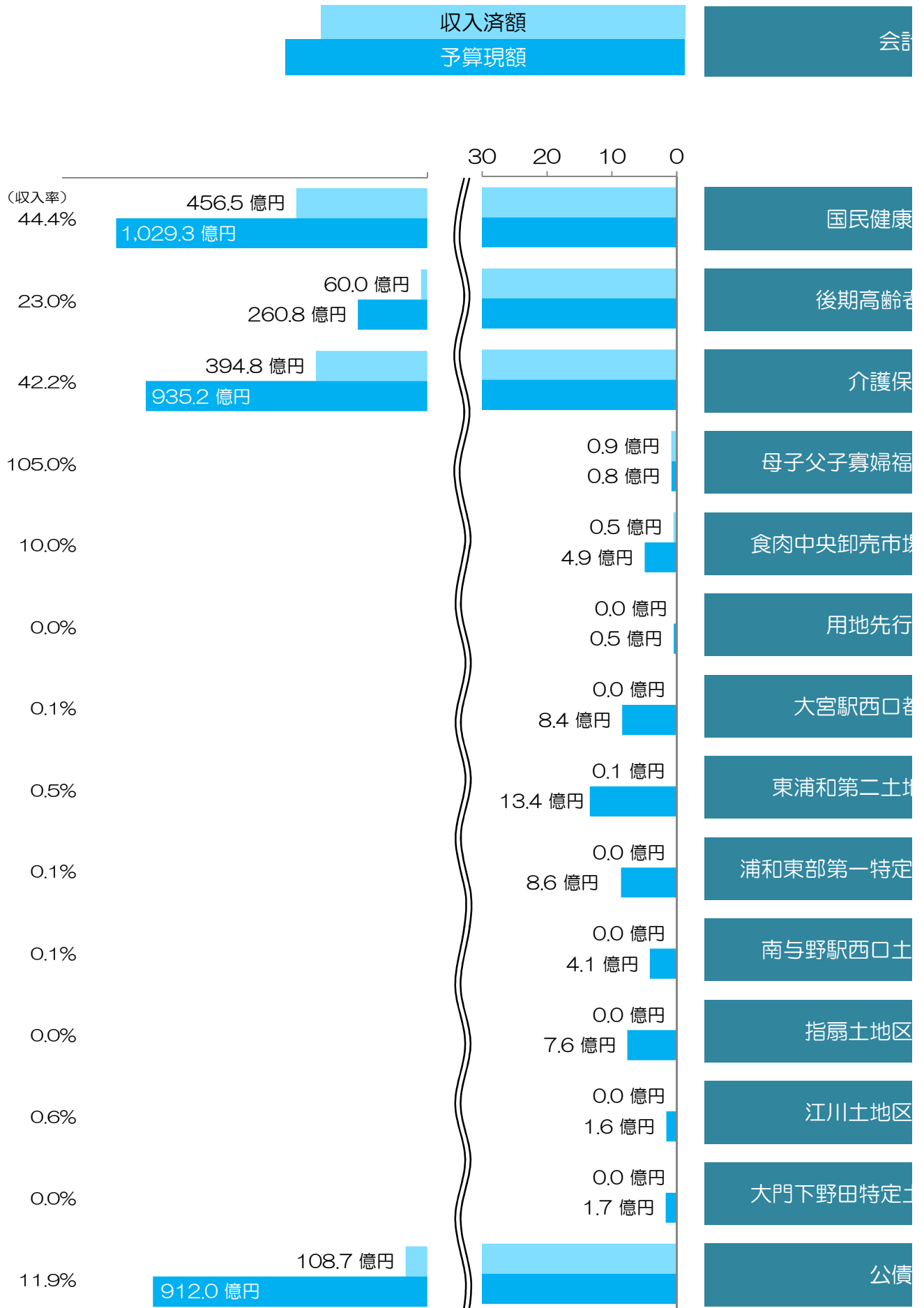
$$\text{歳入} \frac{\text{収入済額 } 2,260\text{億}6,262\text{万円}}{\text{予算現額 } 6,330\text{億}6,674\text{万円}} = \text{収入率 } 35.7\%$$

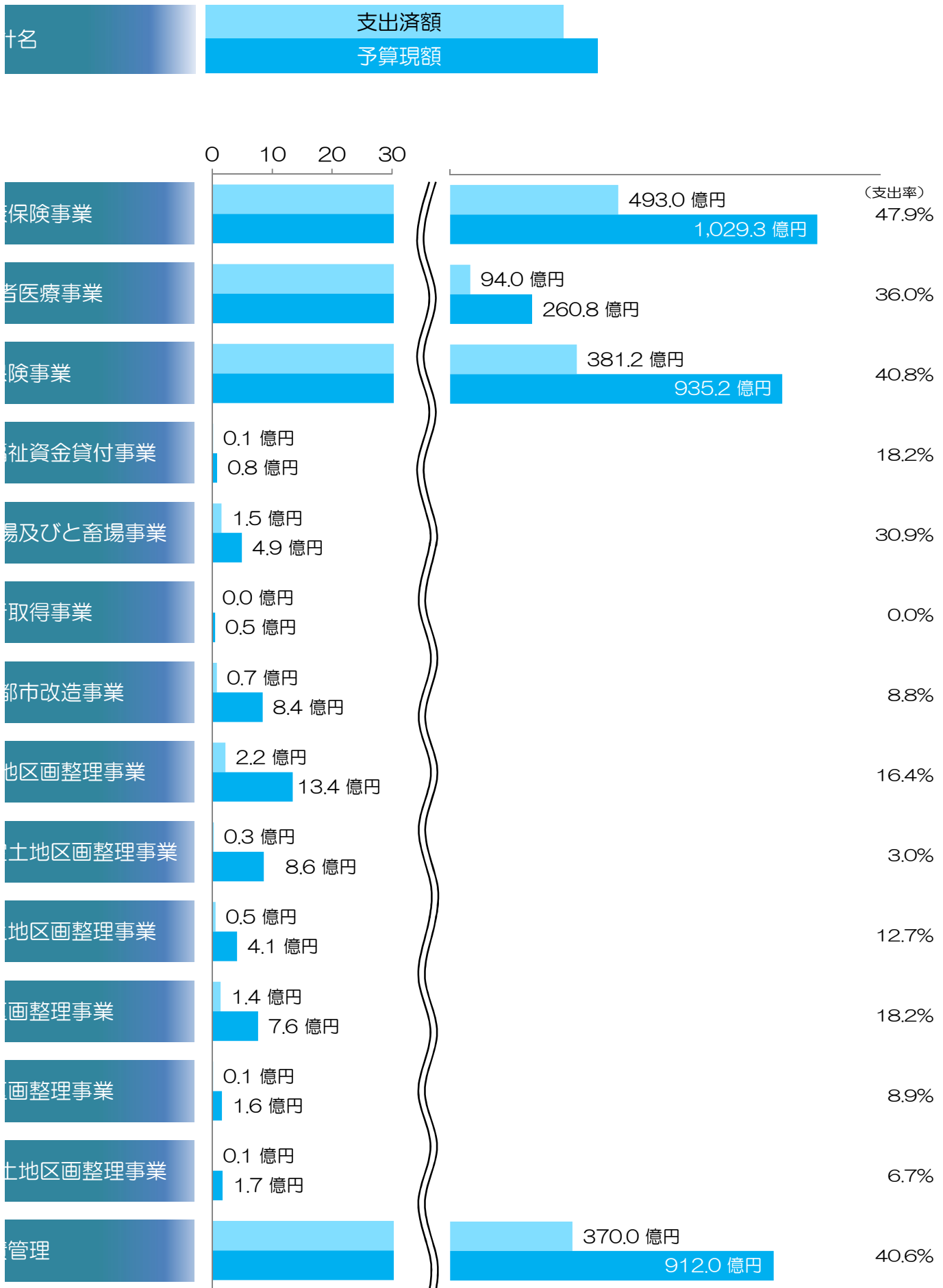


歳出 $\frac{\text{支出済額 } 2,140\text{億}2,933\text{万円}}{\text{予算現額 } 6,330\text{億}6,674\text{万円}} = \text{支出率 } 33.8\%$



特別会計





3 令和3年度予算の使い方と市税負担

※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と総額は一致しない場合があります。

市民一人当たりの予算の使われ方

1

民生費



167,008円

歳出（一般会計）を、
市民一人当たりに換算すると、

475,532 円

※市民一人当たりの歳出の額を、目的別で金額の多い順に並べています。
※令和3年10月1日現在の人口（1,331,281人）を基に算出（以下同様）

2

教育費



69,992円

3

土木費



53,786円

4

衛生費



50,574円

5

公債費



41,062円

6

総務費



39,915円

7

商工費



36,846円

8

消防費



13,331円

その他

議会費
農林水産業費
労働費
予備費
災害復旧費

3,019円

市税負担の状況

市税を、市民一人当たりに換算すると、

196,599 円

市民税



107,022円

固定資産税



65,320円

都市計画税

14,014円

市たばこ税

5,639円

事業所税

3,462円

軽自動車税

1,139円




その他

4円

4 財産、地方債及び一時借入金の現在高

※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と総額は一致しない場合があります。

財産の現在高

土地	建物	基金
		
3,186万㎡	270万㎡	656億円

その他の財産

区分	9月末現在高	
公有財産	立木	7,274㎡
	物権	27万㎡
	動産	なし
	無体財産権	14件
	有価証券	97億円
	出資による権利	18億円
	不動産の信託の受益権	なし
物品	4,670点	
債権	32億円	

※物品については、取得価格が1点100万円以上の備品の年度末現在高のみ掲載対象としています。

※基金現在高の内訳

- ・財政調整基金：年度間の財源不均衡を調整するために設置される基金で、決算剰余金を積立て、必要に応じて取崩しを実施。 225億円
- ・減債基金：地方債の償還を計画的に行うために設置される基金で、計画に応じて積立て・取崩しを実施。 186億円
- ・その他特定の目的のために設置される基金：公共施設の老朽化対策など、事業の目的に応じて積立て・取崩しを実施。 245億円

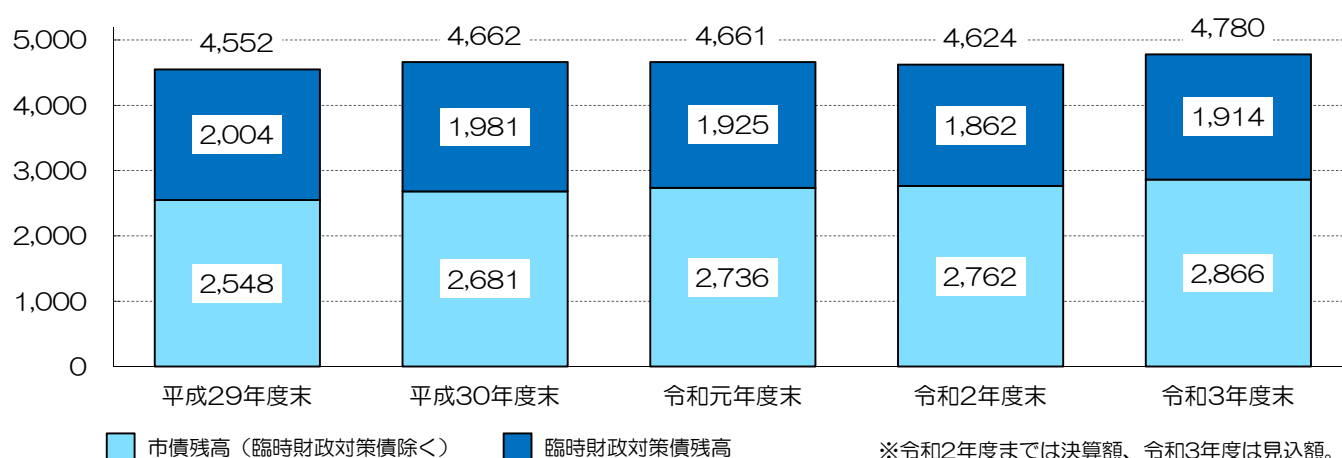
地方債の現在高

(単位：億円)

会計	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末 (見込み)	
一般会計	4,552	4,662	4,661	4,624	4,780	
特別会計	130	120	103	86	73	
企業会計	水道事業	514	480	445	429	438
	病院事業	47	83	341	333	324
	下水道事業	1,808	1,812	1,806	1,801	1,795
合計	7,051	7,157	7,357	7,273	7,410	

(参考) 地方債の現在高の推移 (一般会計)

(単位：億円)



一時借入金の現在高

令和2年度下半期に引き続き、令和3年度上半期における借入れはなく、令和3年9月末現在の残高はありません(一時借入金は金融機関からの借入れを指し、基金や会計間の繰替運用によるものは含みません。)

5 企業会計の状況

水道事業

現在、本市の人口は増加傾向にあります。将来的には減少に転じ、併せて給水収益も減少していくと推測されます。

一方で、水道施設や管路の老朽化が進み、その更新需要は更に増加していく見込みです。また、災害時においても安定した給水を行うため、耐震化対策を推進する必要があります。これらを計画的に進めていくことが課題となっています。

このような状況に対応するため、将来の人口減少に伴う水需要の減少を踏まえ、財政とバランスの取れた施設整備を行い、効率的かつ効果的な事業運営を推進する必要があります。

令和2年度決算の概要

決算額 45,091,813千円

(主な事業)	(単位：千円)
水道施設整備事業	10,418,968
水道水の安定供給を図るため施設整備を推進しました。	

病院事業

本市が運営する唯一の公立病院であるさいたま市立病院は、地域の基幹病院として、地域医療における中核的な役割を果たしていますが、救急・周産期・災害等の不採算・特殊部門に係る医療の多くを公立病院が担っている中、全国的に公立病院を取り巻く経営環境や医療提供体制の維持が極めて厳しい状況となっています。

このような状況の下、新たに医療機能の拡充・強化を行ったさいたま市立病院では、市民が地域の中で必要な医療を受けることができる「地域完結型医療の要」として、安定した医療提供体制を維持するため、「さいたま市立病院中期経営計画」に基づき、医療機能の充実と健全な経営基盤の確立を図っていきます。

令和2年度決算の概要

決算額 24,810,193千円

(主な事業)	(単位：千円)
市立病院医療機器等整備事業	301,976
質の高い医療の提供及び病院機能の拡充のため、医療機器等を整備しました。	

下水道事業

自然災害への備えや下水道施設の老朽化による事故を未然に防止し、豊かな自然環境や快適な生活環境を創りつづけていくため、主要事業である下水道浸水対策事業、下水道施設老朽化対策事業、下水道汚水事業を推進していきます。

また、令和3年3月に策定した「さいたま市下水道事業中期経営計画」に基づき、市民・企業に安定的・継続的に下水道サービスを提供するため、現行使用料水準を維持しつつ、下水道事業の健全な経営を継続していきます。

令和2年度決算の概要

決算額 48,813,793千円

(主な事業)	(単位：千円)
下水道浸水対策事業	2,506,274
浸水被害の軽減を目的とした雨水管及び雨水貯留施設等の整備を推進しました。	
下水道施設老朽化対策事業	4,037,223
老朽化した下水道施設について、予防保全の観点から計画的な改築を進めるとともに、緊急輸送道路下の重要な下水道管等の耐震化を推進しました。	
下水道汚水事業	3,231,636
合併処理浄化槽との役割分担により、事業効率が高い区域の汚水整備を推進しました。	

■ 計理の概況 (令和3年度上半期) (単位：千円)

科目	金額
資産	226,369,051
(1) 固定資産	208,039,129
(2) 流動資産	18,329,922
負債	77,013,953
(1) 固定負債	41,199,525
(2) 流動負債	7,127,335
(3) 繰延収益	28,687,093
資本	142,480,191
(1) 資本金	129,755,597
(2) 剰余金	12,724,594
収益	14,718,270
うち営業収益	14,637,927
費用	7,512,584
うち営業費用	7,123,950
整理勘定(中間勘定)	330,779

(単位：千円)

	収入		支出	
	収入額	収入率	執行額	執行率
収益的収支	16,176,892	48.4%	8,104,602	28.1%
資本的収支	60,034	1.0%	5,440,919	24.0%

■ 事業の概況 (令和3年度上半期)

項目	前年同期	当期	対前年度
給水件数	618,658	628,361	101.6%
給水量 (m ³)	68,007,950	68,153,460	100.2%
一日平均給水量 (m ³)	371,628	372,423	100.2%

■ 計理の概況 (令和3年度上半期) (単位：千円)

科目	金額
資産	47,329,296
(1) 固定資産	41,106,106
(2) 流動資産	6,223,190
負債	40,493,670
(1) 固定負債	35,925,276
(2) 流動負債	3,338,193
(3) 繰延収益	1,230,201
資本	7,003,007
(1) 資本金	8,927,023
(2) 剰余金	▲ 1,924,016
収益	8,890,480
うち医業収益	8,697,030
費用	9,052,041
うち医業費用	8,950,274
整理勘定(中間勘定)	5,820

(単位：千円)

	収入		支出	
	収入額	収入率	執行額	執行率
収益的収支	8,917,680	41.5%	9,236,680	37.2%
資本的収支	509,181	25.9%	1,353,013	37.3%

■ 事業の概況 (令和3年度上半期)

項目	前年同期	当期	対前年度	
病床数	637	637	100.0%	
入院患者数	一般病床	78,315	80,787	103.2%
	結核・精神	2,325	2,916	125.4%
一日平均入院患者数	一般病床	428.0	441.5	103.2%
	結核・精神	12.7	15.9	125.2%
外来患者数	103,897	125,062	120.4%	
一日平均外来患者数	851.6	1,025.1	120.4%	

■ 計理の概況 (令和3年度上半期) (単位：千円)

科目	金額
資産	419,674,305
(1) 固定資産	409,847,172
(2) 流動資産	9,827,133
負債	278,800,405
(1) 固定負債	168,823,524
(2) 流動負債	9,756,593
(3) 繰延収益	100,220,288
資本	135,741,482
(1) 資本金	131,056,472
(2) 剰余金	4,685,010
収益	12,173,363
うち営業収益	12,169,760
費用	3,486,003
うち営業費用	2,303,117
整理勘定(中間勘定)	3,554,943

(単位：千円)

	収入		支出	
	収入額	収入率	執行額	執行率
収益的収支	13,020,040	50.5%	3,692,548	14.9%
資本的収支	466,627	2.8%	10,502,256	35.1%

■ 事業の概況 (令和3年度上半期)

項目	前年同期	当期	対前年度
汚水処理戸数	533,591	544,530	102.1%
汚水処理水量 (m ³)	79,030,680	76,761,143	97.1%
一日平均汚水処理水量 (m ³)	431,862	419,460	97.1%

Q どんなコロナ対策事業を行ったの？

A 令和2年度は「感染症拡大防止と検査・医療提供体制の整備」「市民生活の支援と市民サービスの向上」「雇用維持・事業継続と経済活動の回復」という観点で、下記のとおりさまざまな対策を実施し、令和2年度の歳出決算額は総額で約1,632億円となりました。

決算総額：約1,632億円
 (うち一般財源 約13億円)



1

感染症拡大防止と検査・医療提供体制の整備に係る決算 45億243万円

(主な事業)

- 新型コロナウイルスワクチン接種〔決算額：2億8,506万円〕
- 病床確保や設備整備を行う医療機関等への補助〔決算額：11億5,554万円〕
- 地域外来・検査センターの運営〔決算額：1億8,025万円〕
- 保健所における相談体制の強化〔決算額：7,517万円〕
- 保険適用された検査費用及び入院医療費の公費負担等〔決算額：4億6,425万円〕
- 妊婦に対するPCR検査等〔決算額：2,089万円〕
- 集団感染が発生した商店街におけるPCR検査等〔決算額：4,095万円〕
- 学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援等〔決算額：5億7,857万円〕
- 保育所や放課後児童クラブ等における感染拡大防止対策等〔決算額：4億1,814万円〕

など

2

市民生活の支援と市民サービスの向上に係る決算 1,372億7,001万円

(主な事業)

- ・ 特別定額給付金の支給〔決算額：1,329億1,995万円〕
- ・ 子育て世帯への臨時特別給付金の支給〔決算額：16億935万円〕
- ・ ひとり親世帯等に対する給付金の支給〔決算額：13億9,656万円〕
- ・ 生活困窮者に対する住居確保給付金〔決算額：2億7,143万円〕
- ・ 保育園等への市からの登園自粛に協力した保護者への支援〔決算額：3億70万円〕
- ・ G I G Aスクール構想の推進〔決算額：2億2,373万円〕
- ・ 避難所における災害用備蓄品の購入〔決算額：5,267万円〕

など

3

雇用維持・事業継続と経済活動の回復に係る決算 213億7,937万円

(主な事業)

- ・ 市内中小企業への資金融資〔決算額：168億2,516万円〕
- ・ 小規模事業者等に対する給付金〔決算額：20億8,313万円〕
- ・ さいたま応援プレミアム付商品券〔決算額：10億385万円〕
- ・ キャッシュレス決済のポイント還元〔決算額：3億634万円〕
- ・ 公共交通事業者に対する支援金〔決算額：3,896万円〕
- ・ 商店街活性化推進補助など商店会への支援〔決算額：3,933万円〕
- ・ 雇用調整助成金の緊急相談会及び申請費用の補助〔決算額：1,836万円〕
- ・ 埼玉県感染防止対策協力金の上乗せ支援金〔決算額：9,786万円〕
- ・ 市内企業のC X / D X支援〔決算額：2億5,087万円〕

など



ありがとう20周年
ともに未来へ

さいたま市



この冊子は150部作成し、1部当たりの印刷経費は77円（概算）です。

令和3年12月
編集発行 / さいたま市財政局財政部財政課
TEL 048-829-1154
FAX 048-829-1974